

8 環境・地域活動

-
- (1) 環境のために心がけていること
 - (2) 環境への影響を考えた日頃からの行動の有無
 - (3) 町会・自治会の加入や活動
 - (4) 町会・自治会に加入していない理由
 - (5) この1年間に参加した活動と、引き続き、または今後参加したい活動
 - (6) 居住地域のごみと資源の収集日の認知状況
-

(1) 環境のために心がけていること

問28 あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

※ 雑紙（ざつがみ）…家庭から排出される古紙のうち、新聞、雑誌、段ボール、紙パックのいずれの区分にも入らないもの（パンフレット、コピー用紙、お菓子の包装紙など）

■「ごみと資源の分別を実行している」が8割台半ば、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」が7割台半ば超

ア 単純集計・経年比較／環境のために心がけていること

(ア) 環境のために心がけていることの上位をみると、以下のとおりとなっている。

- ①「ごみと資源の分別を実行している」(85.2%)
- ②「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(77.8%)
- ③「雑紙(※)を燃やすごみではなく、資源として出している」(55.1%)
- ④「外食時に食べられる分だけ注文する」(54.0%)
- ⑤「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(50.6%)

(イ) 前回調査と比較すると、「ごみと資源の分別を実行している」が3.8ポイント減少しているものの、他の項目では特に大きな違いは見られない。

図8-1-1-① 経年比較／環境のために心がけていること

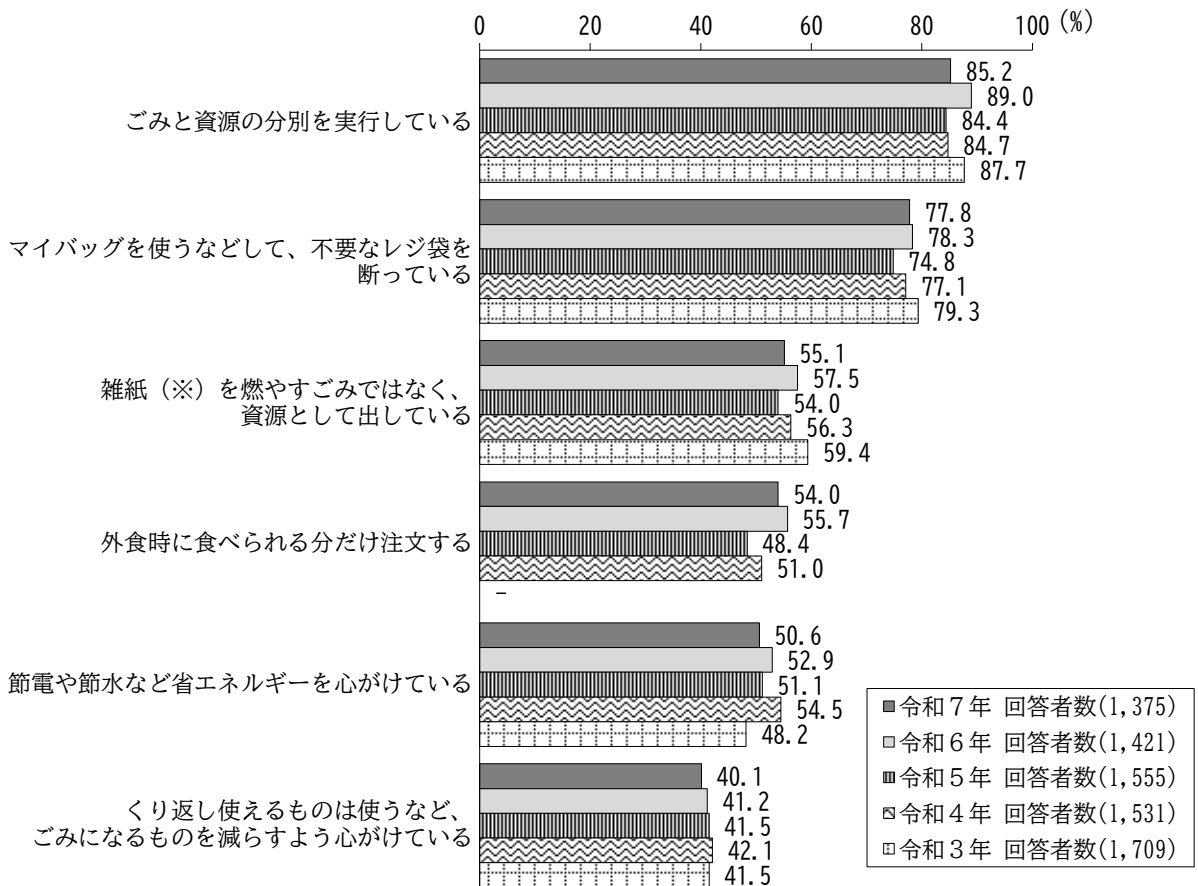
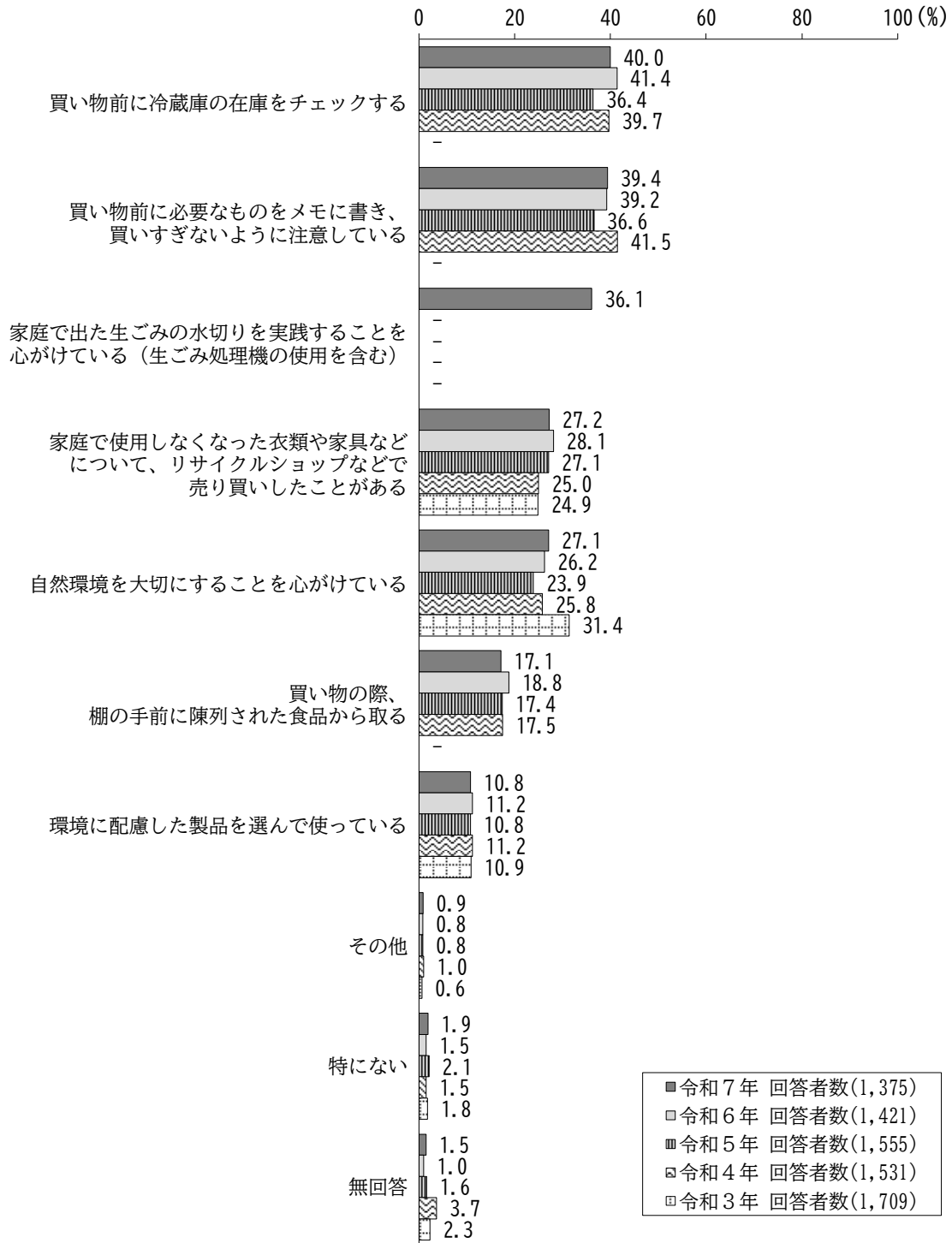


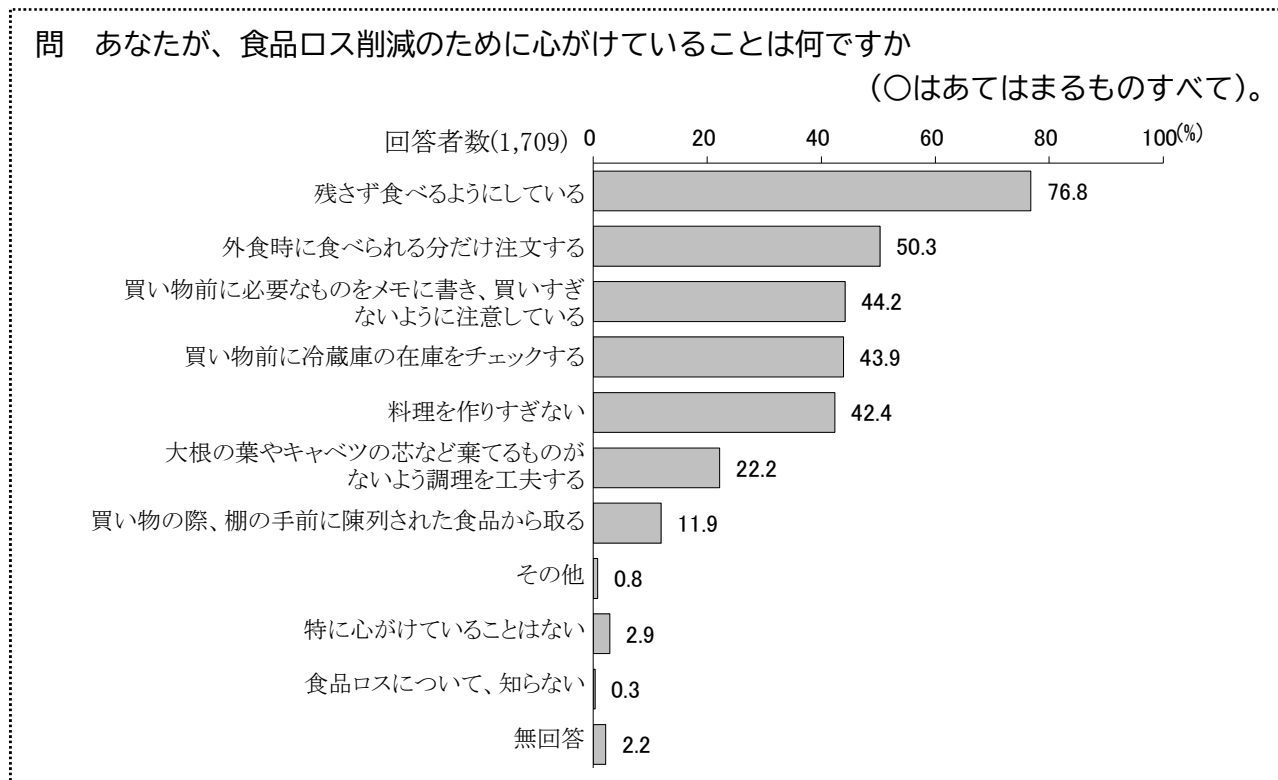
図8-1-1-② 経年比較／環境のために心がけていること



※「外食時に食べられる分だけ注文する」、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」、「買い物の際、棚の手前に陳列された食品から取る」の4項目は令和3年度まで「食品ロス削減のために心がけていること」についての設問で聴いていたが、令和4年度から本設問に統合。

※「家庭で出た生ごみの水切りを実践することを心がけている（生ごみ処理機の使用を含む）」は今回調査からの新設項目。

参考／（令和3年度）食品ロス削減のために心がけていること

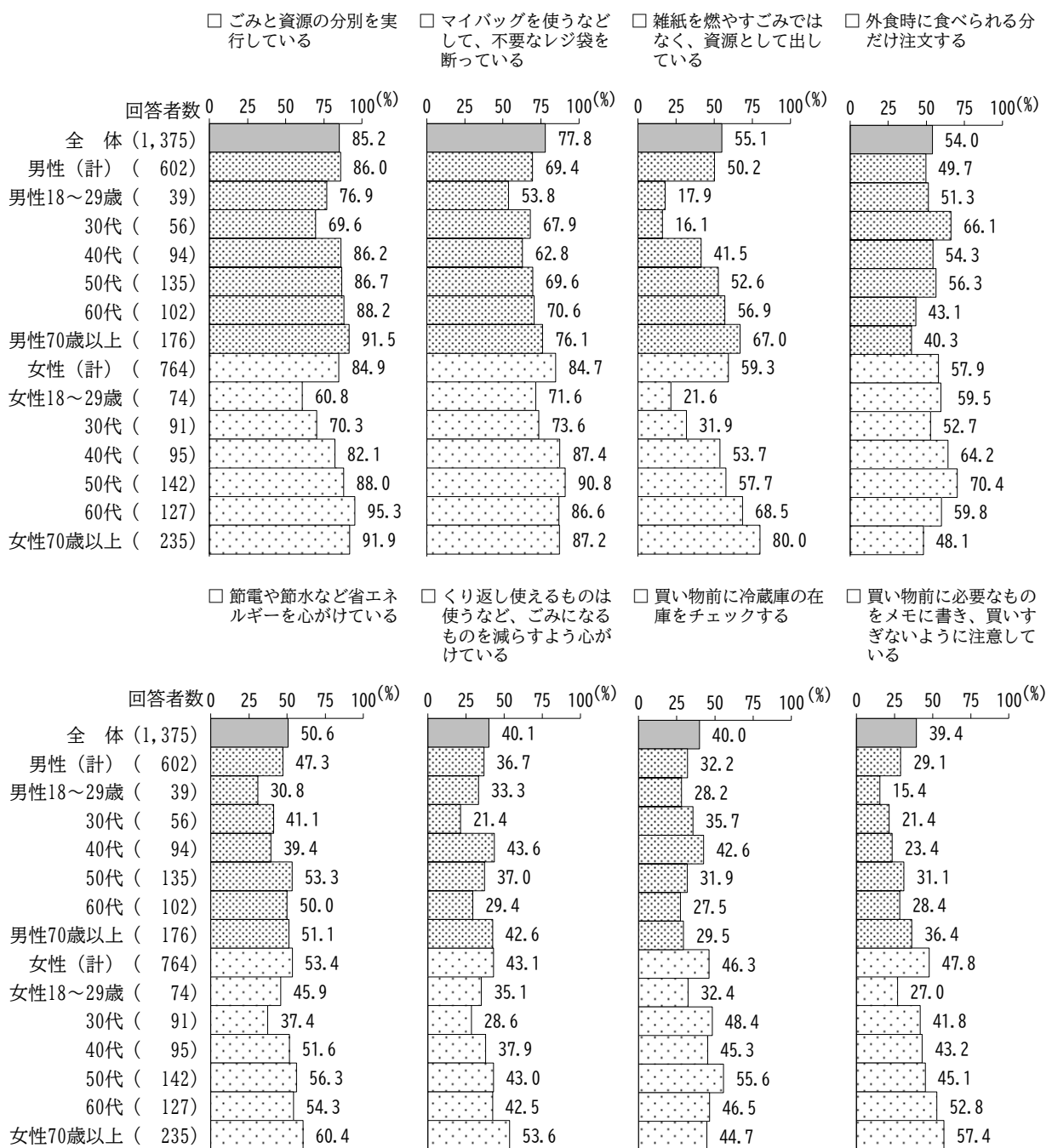


イ クロス集計・性別、性・年代別／環境のために心がけていること（上位8項目）

（ア）性別で見ると、「ごみと資源の分別を実行している」以外のすべての項目で女性の方が男性より高くなっており、上位8項目では、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（+18.7ポイント）、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（+15.3ポイント）、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」（+14.1ポイント）で女性の方が10ポイント以上高くなっている。

（イ）性・年代別で見ると、「ごみと資源の分別を実行している」は、女性の60代で9割台半ばと最も高く、男女ともに70歳以上で9割超と高くなっている。また、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は女性の50代で9割と最も高く、「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」では、男女とも年代が上がるほど割合も高くなる傾向が見られる。

図8-1-2 性別、性・年代別／環境のために心がけていること／上位8項目

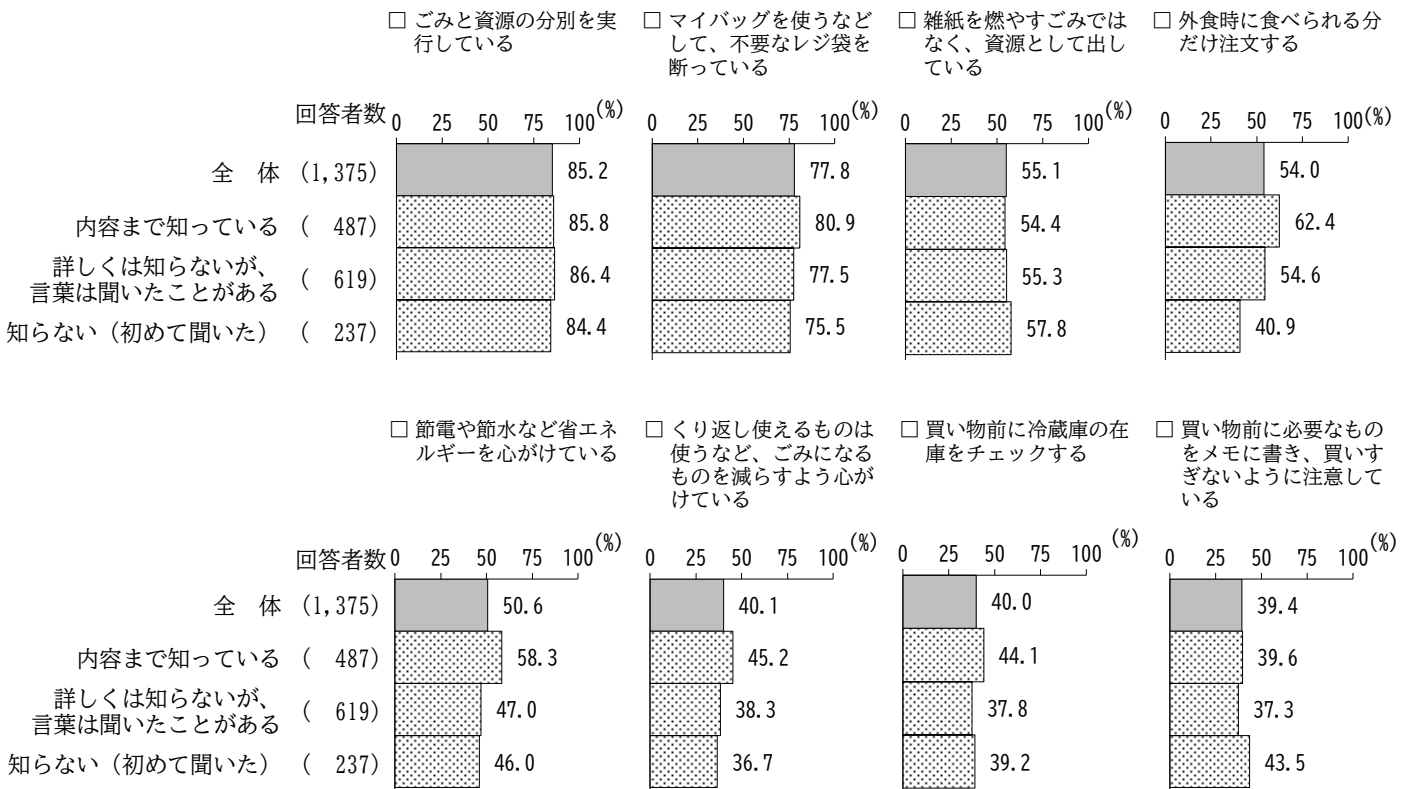


ウ クロス集計・SDGs認知度別／環境のために心がけていること（上位8項目）

（ア）「環境のために心がけていること」の上位8項目中4項目でSDGsの認知度が高いほど割合も高くなる傾向がうかがえた。SDGsについて「内容まで知っている」－「知らない（初めて聞いた）」のポイント差が大きい順に並べると以下のとおりとなっている。

- ①「外食時に食べられる分だけ注文する」（21.5ポイント）
- ②「節電や節水など省エネルギーを心がけている」（12.3ポイント）
- ③「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」（8.5ポイント）
- ④「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（5.4ポイント）

図8-1-3 SDGs認知度別／環境のために心がけていること／上位8項目



(2) 環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

問29 あなたは、日頃から環境への影響を考えて具体的に行動(※)していますか
(○は1つだけ)。

※ 問28(1から13)で示された内容のことです。

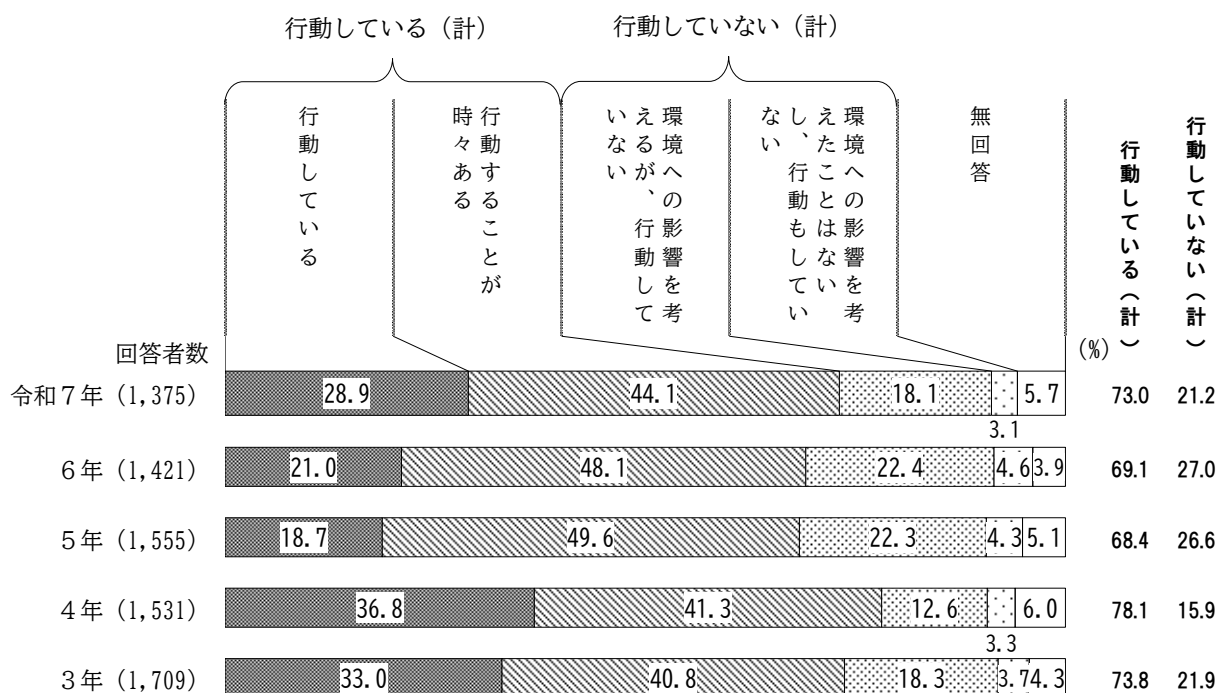
■【行動している】が7割台半ばで、【行動していない】が2割超

ア 単純集計・経年比較/環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

(ア) 環境への影響を考えた日頃からの行動状況は、「行動することが時々ある」が44.1%で最も高く、これに「行動している」(28.9%)を合わせた【行動している】は73.0%となっている。一方、「環境への影響を考えるが、行動していない」(18.1%)と「環境への影響を考えたことはないし、行動もしていない」(3.1%)を合わせた【行動していない】は21.2%となっている。

(イ) 前回調査と比較すると、「行動している」が7.9ポイント増加し、【行動していない】が5.8ポイント減少した。

図8-2-1 経年比較/環境への影響を考えた日頃からの行動の有無



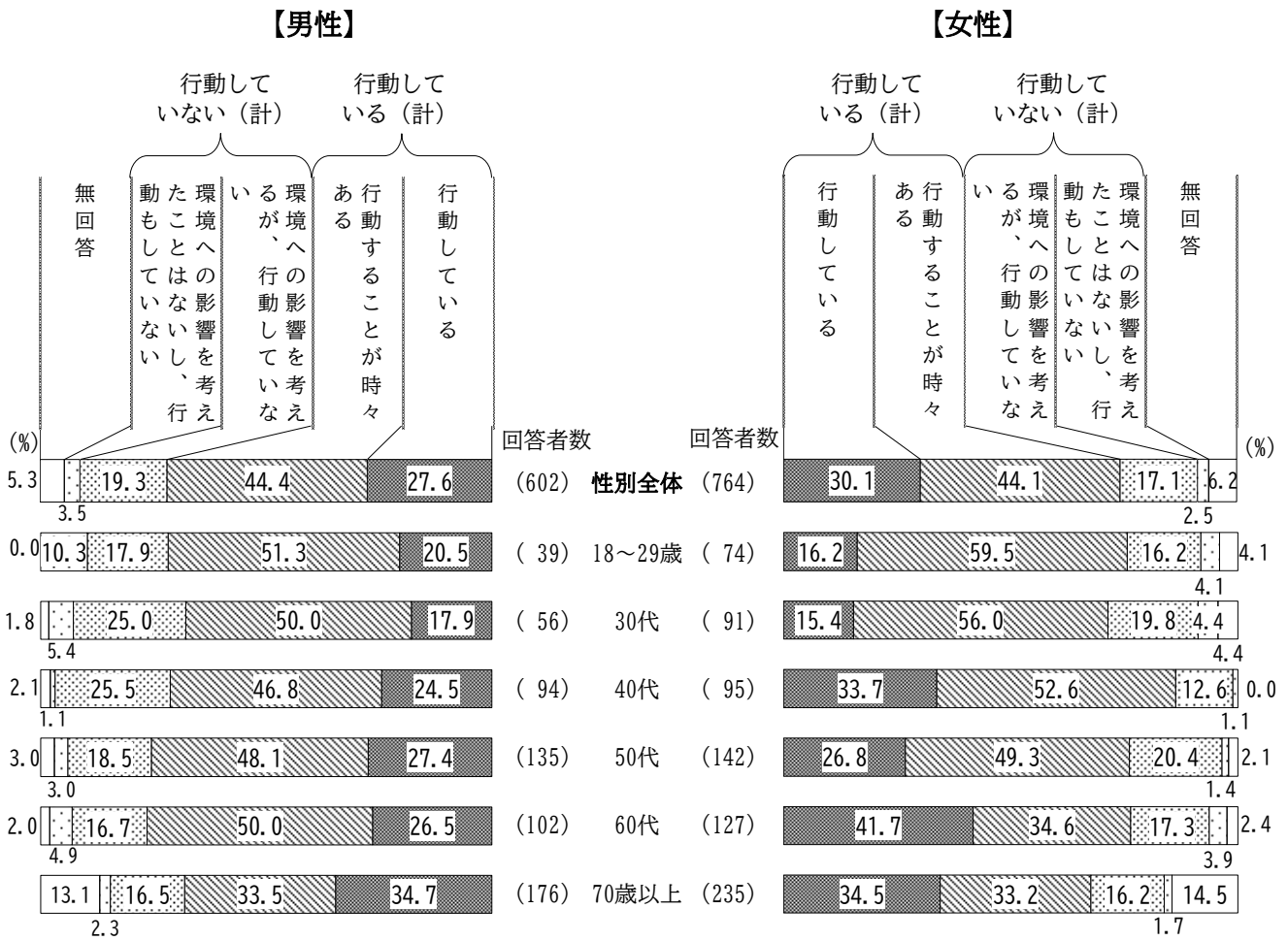
※令和5年度と6年度で「行動している」の割合が急落している理由は、令和4年度以前の設問文において、「・・・具体的に行動(※)していますか。」とし、質問文の後に「※前問の1～8で示された内容のことです。」と注釈を加えていたが、この注釈を除外したことに依るものと考えられる。今回の令和7年度では、調査票のとおり、「問28(1から13)で示された内容のことです。」という注釈を復活させた。

イ クロス集計・性別、性・年代別／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

(ア) 性別では、【行動していない】は男性（22.8%）の方が女性（19.6%）より3.2ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【行動している】は女性の40代で86.3%と最も高く、次いで男性の60代（76.5%）、女性の60代（76.4%）が続いている。一方、女性の70歳以上で67.7%と最も低くなっている。

図8-2-2 性別、性・年代別／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無



(3) 町会・自治会の加入や活動

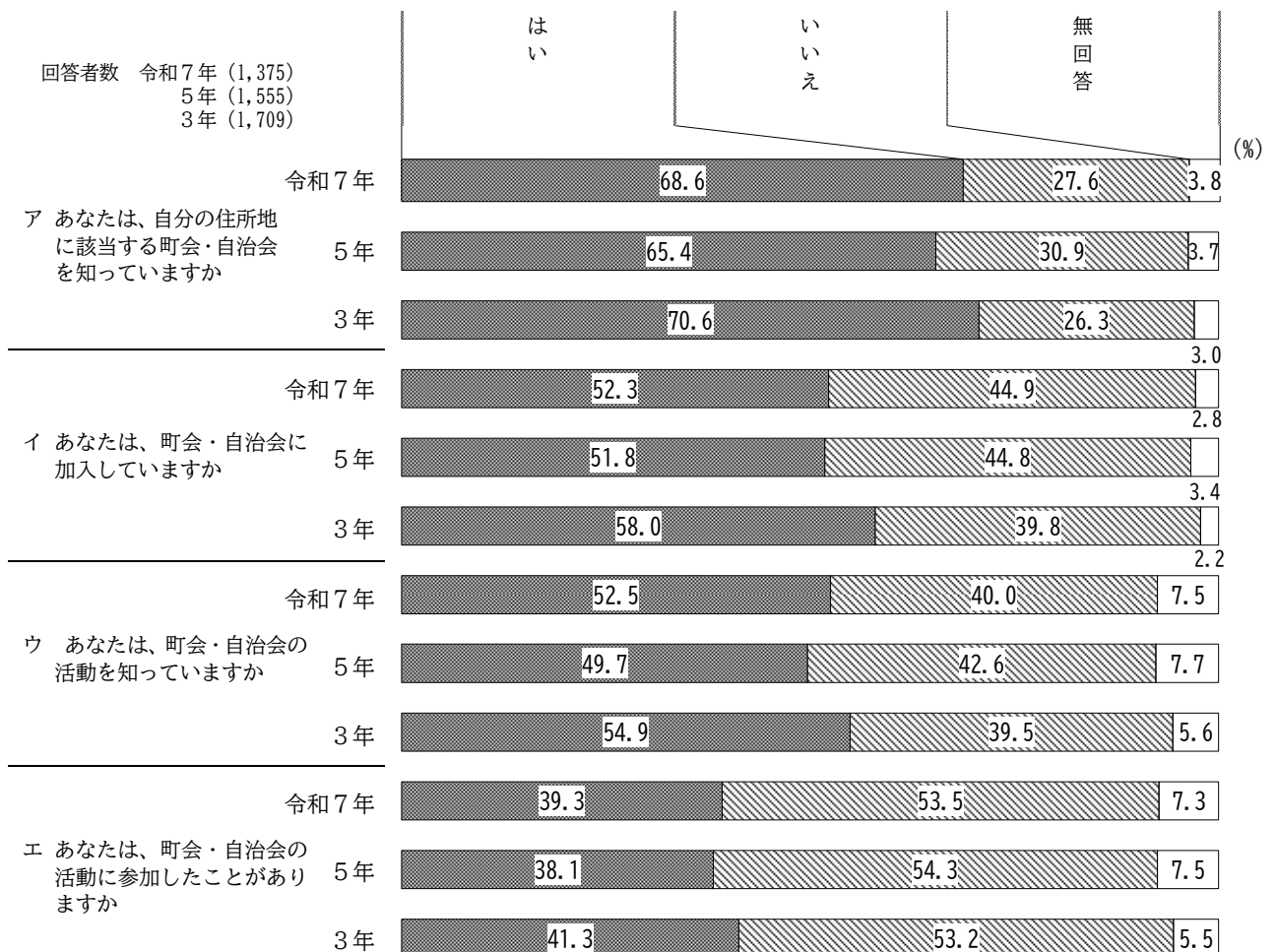
問30 町会・自治会の加入や活動についてお答えください(〇はそれぞれ1つずつ)。

■「加入している」が5割半ば近く、「活動に参加したことがある」は約4割

ア 経年比較/町会・自治会の加入や活動

- (ア) 自分の住所地に該当する町会・自治会の認知については、「はい(知っている)」が68.6%を占め、「いいえ(知らない)」が27.6%となっている。
- (イ) 町会・自治会への加入状況は、「はい(加入している)」が52.3%で、「いいえ(加入していない)」の44.9%を7.4ポイント上回っている。
- (ウ) 町会・自治会の活動内容については、「はい(知っている)」が52.5%で、「いいえ(知らない)」の40.0%を12.5ポイント上回っている。
- (エ) 町会・自治会の活動への参加状況は、「いいえ(参加したことはない)」が53.5%で、「はい(参加したことがある)」の39.3%を14.2ポイント上回っている。
- (オ) 前回の令和5年度調査と比較すると、“自分の住所地に該当する町会・自治会の認知”が3.2ポイント増加し、“町会・自治会への活動内容の認知”も2.8ポイント増加している。

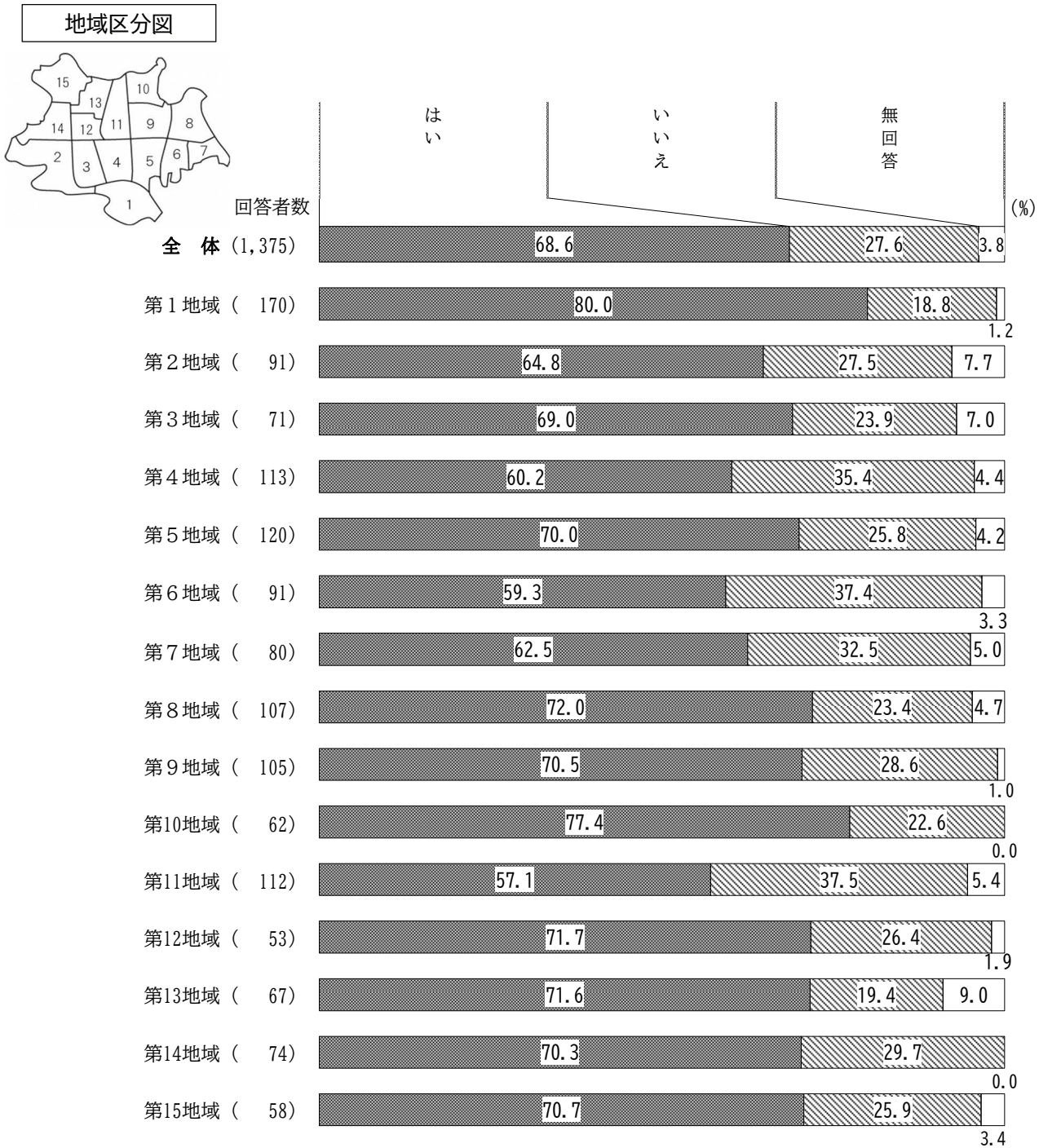
図8-3-1 経年比較/町会・自治会の加入や活動



イ クロス集計・地域別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況

(ア) 自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を地域別にみると、「はい(知っている)」は第1地域が80.0%で最も高く、次いで、第10地域(77.4%)、第8地域(72.0%)が続いている。一方、「いいえ(知らない)」は第11地域が37.5%と最も高く、次いで、第6地域(37.4%)となっている。

図8-3-2-① 地域別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況



ウ クロス集計・地域別／町会・自治会の加入状況

(ア) 町会・自治会への加入状況を地域別にみると、「はい(加入している)」は第1地域が62.4%で最も高く、次いで、第12地域(60.4%)が6割で続いている。一方、「いいえ(加入していない)」は第6地域が64.8%と他の地域に比べ特に高く、次いで、第14地域(51.4%)、第15地域(50.0%)が5割台となっている。

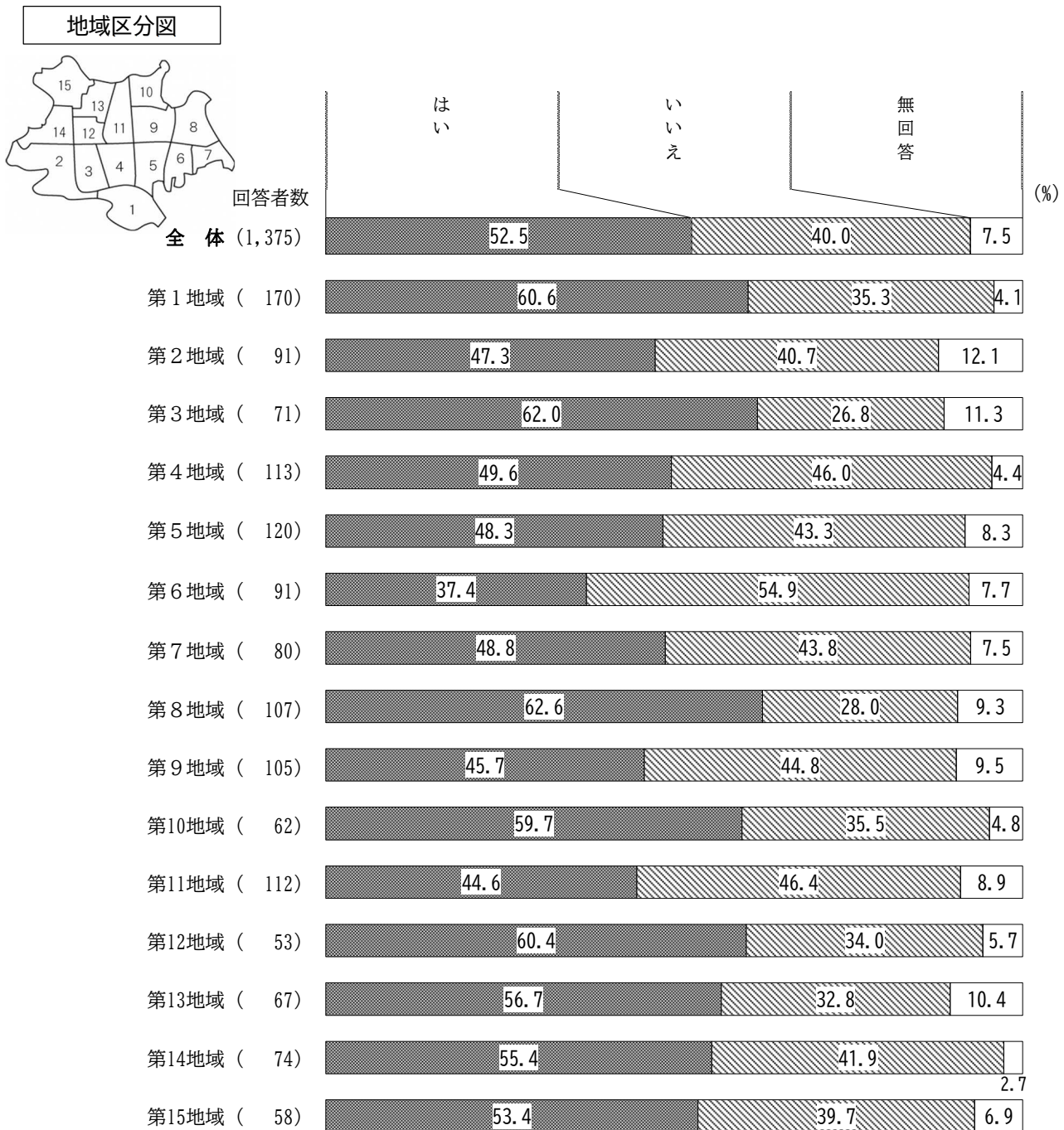
図8-3-2-② 地域別／町会・自治会の加入状況



エ クロス集計・地域別／町会・自治会活動の認知状況

(ア) 町会・自治会活動の認知状況を地域別にみると、「はい(知っている)」は第8地域が62.6%で最も高く、次いで、第3地域(62.0%)、第1地域(60.6%)、第12地域(60.4%)が6割台で続いている。一方、「いいえ(知らない)」は第6地域が54.9%で他の地域に比べ特に高く、次いで、第11地域(46.4%)と第4地域(46.0%)が4割台後半となっている。

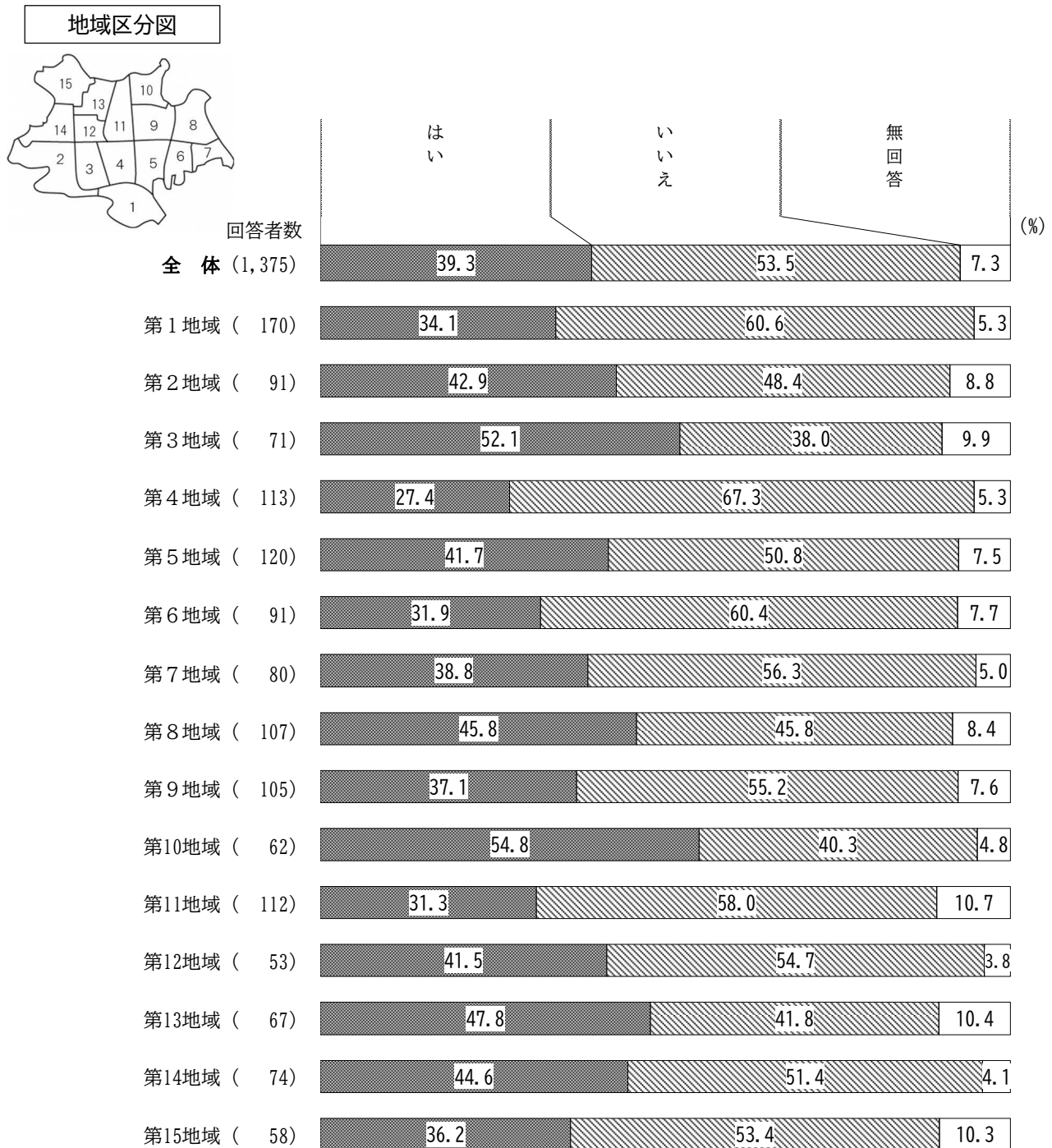
図8-3-2-③ 地域別／町会・自治会活動の認知状況



オ クロス集計・地域別／町会・自治会活動の参加状況

(ア) 町会・自治会活動への参加状況を地域別にみると、「はい（参加したことがある）」は第10地域が54.8%で最も高く、次いで、第3地域（52.1%）が5割台で続いている。一方、「いいえ（参加したことはない）」は第4地域が67.3%で最も高く、次いで、第1地域（60.6%）と第6地域（60.4%）が6割台となっている。

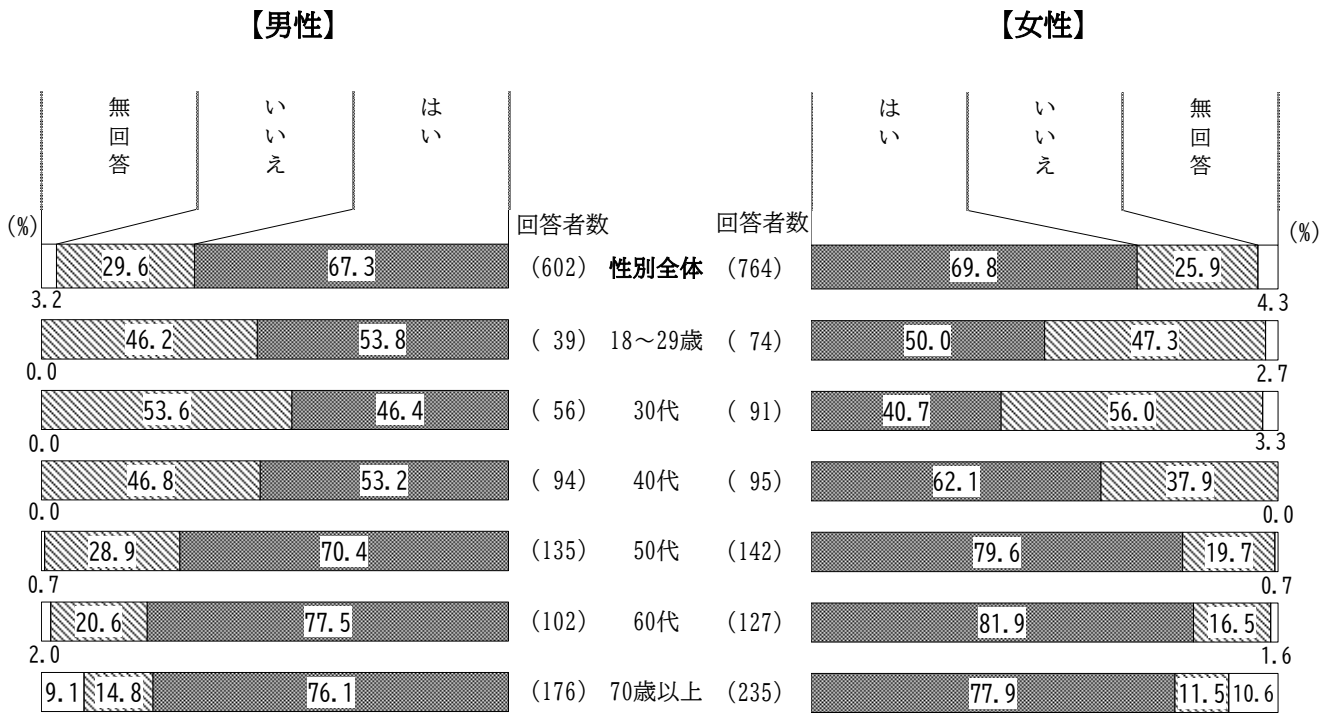
図8-3-2-④ 地域別／町会・自治会活動の参加状況



カ クロス集計・性別、性・年代別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況

- (ア) 自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況を性別にみると、「いいえ（知らない）」は男性（29.6％）の方が女性（25.9％）より3.7ポイント高くなっている。
- (イ) 性・年代別にみると、「はい（知っている）」は女性の60代で81.9％と最も高く、女性の50代でも約8割と高くなっている。一方、「いいえ（知らない）」は、男女とも30代で5割台と高くなっている。

図8-3-3-① 性別、性・年代別／自分の住所地に該当する町会・自治会の認知状況

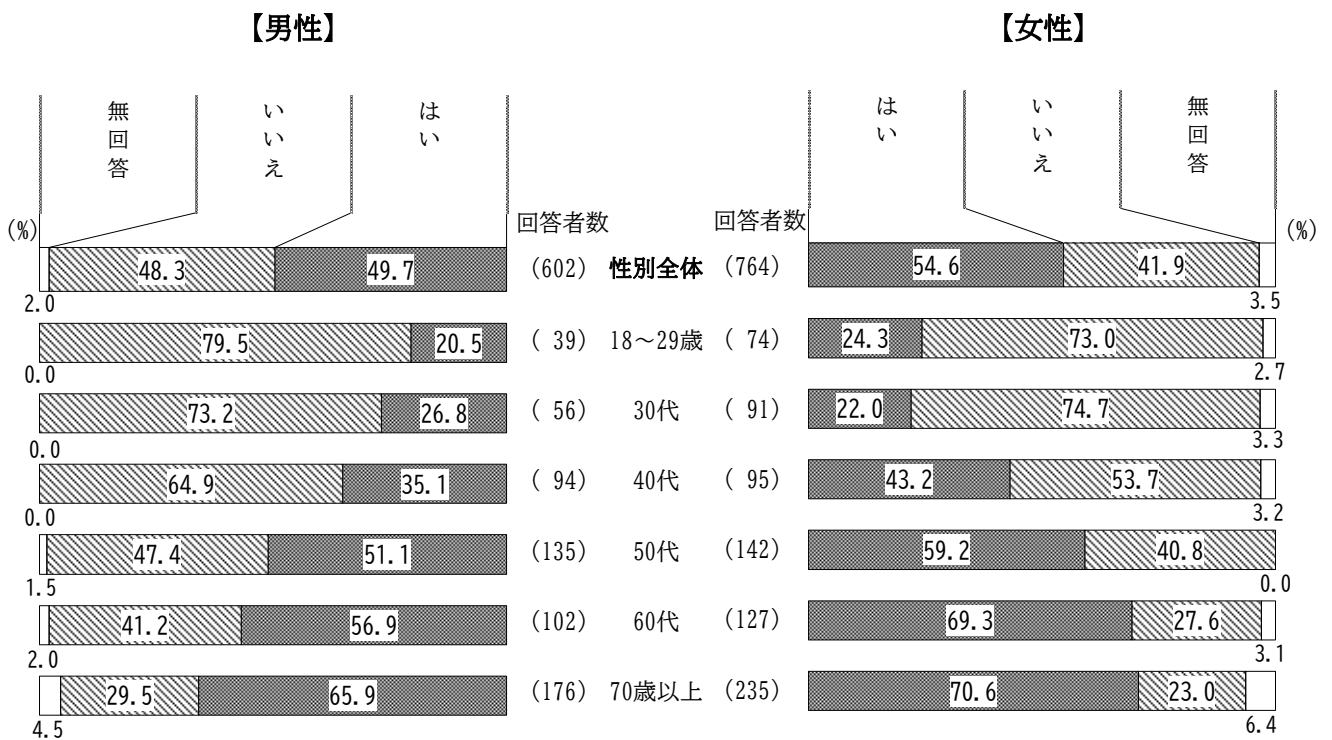


キ クロス集計・性別、性・年代別／町会・自治会の加入状況

(ア) 町会・自治会の加入状況を性別にみると、「はい（加入している）」は女性（54.6%）の方が男性（49.7%）より4.9ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、「はい（加入している）」は男女とも年齢が上がるほど割合も高くなり、女性の70歳以上で70.6%で最も高く、女性の60代（69.3%）も約7割と高くなっている。一方、「いいえ（加入していない）」は、男性の18～29歳で79.5%と最も高く、次いで、女性の30代（74.7%）となっている。

図8-3-3-② 性別、性・年代別／町会・自治会の加入状況

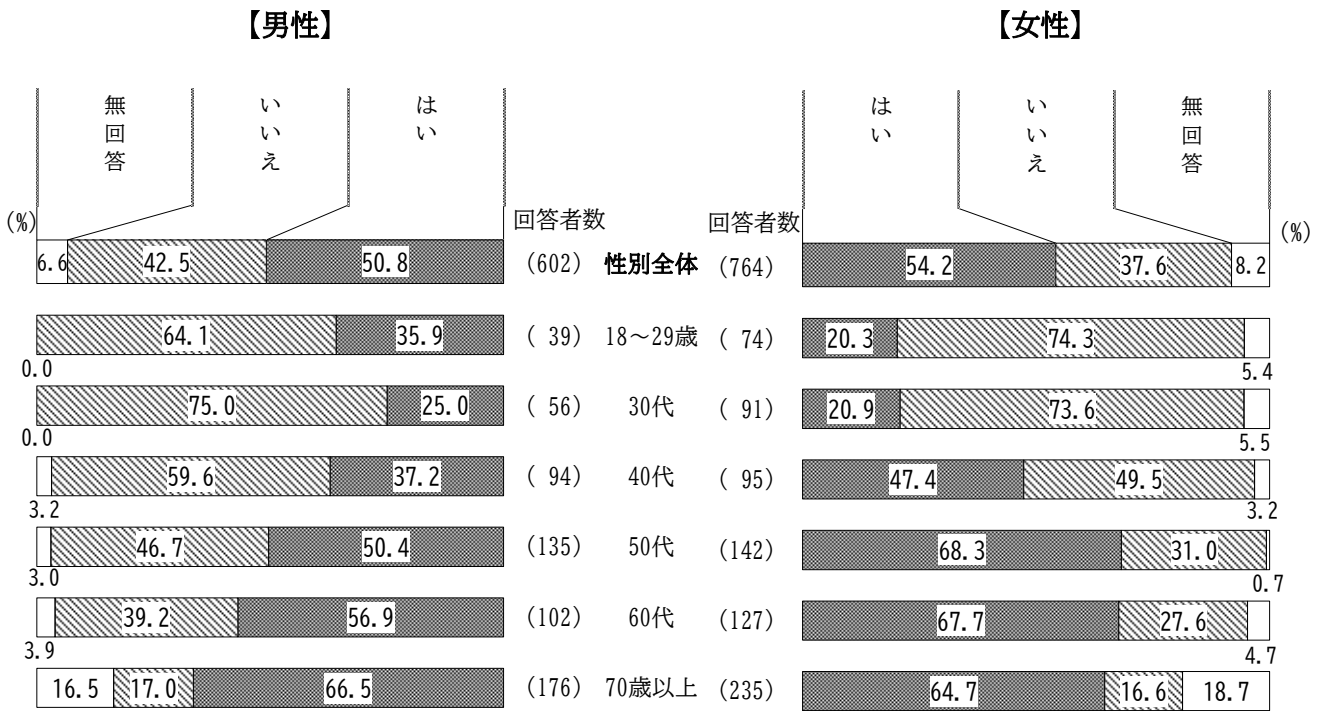


ク クロス集計・性別、性・年代別／町会・自治会活動の認知状況

(ア) 町会・自治会活動の認知状況を性別にみると、「はい（知っている）」は女性（54.2%）の方が男性（50.8%）より3.4ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、「はい（知っている）」は女性の50代が68.3%で最も高く、次いで女性の60代と男性の70歳以上が6割台後半と高くなっている。一方、「いいえ（知らない）」は、男性の30代が75.0%と最も高く、次いで、女性の18～29歳と30代で7割台となっている。

図8-3-3-③ 性別、性・年代別／町会・自治会活動の認知状況

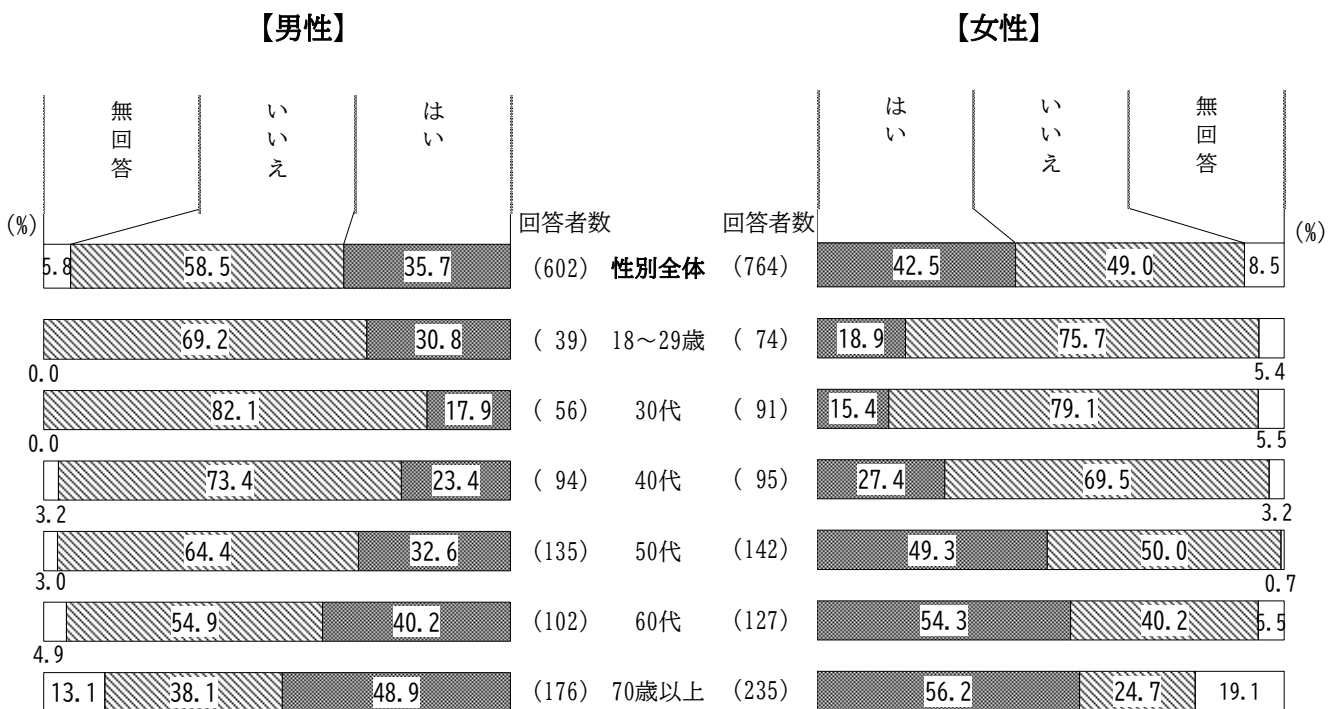


ケ クロス集計・性別、性・年代別／町会・自治会活動の参加状況

(ア) 町会・自治会の活動への参加状況を性別にみると、「はい（参加したことがある）」は女性（42.5%）の方が男性（35.7%）より6.8ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、「はい（参加したことがある）」は女性の70歳以上が56.2%で最も高く、次いで女性の60代も5割台と高くなっている。一方、「いいえ（参加したことはない）」は、男性の30代で82.1%と最も高く、次いで、女性の18～29歳と30代で7割台後半と高くなっている。

図8-3-3-④ 性別、性・年代別／町会・自治会活動の参加状況



(4) 町会・自治会に加入していない理由

問30の「イ あなたは、町会・自治会に加入していますか。」で「2 いいえ」とお答えの方に
問30-1 あなたが、町会・自治会に加入しない最も大きな理由は何ですか（○は1つだけ）。

■「加入する必要性を感じないから」が34.0%、次いで「誘われないから」が11.5%

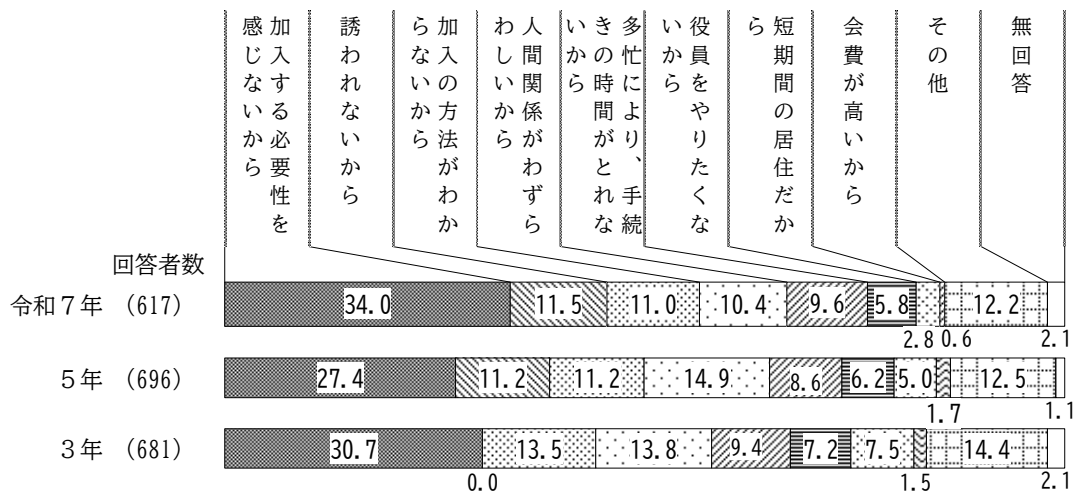
ア 単純集計・経年比較／町会・自治会に加入しない理由

(ア) 町会・自治会に加入していない理由を聞いたところ、上位は以下のとおりとなった。

- ①「加入する必要性を感じないから」(34.0%)
- ②「誘われないから」(11.5%)
- ③「加入の方法がわからないから」(11.0%)
- ④「人間関係がわずらわしいから」(10.4%)

(イ) 令和5年度調査との比較では、「加入する必要性を感じないから」が6.6ポイント増加し、「人間関係がわずらわしいから」が4.5ポイントの減少となっている。

図8-4-1 経年比較／町会・自治会に加入しない理由

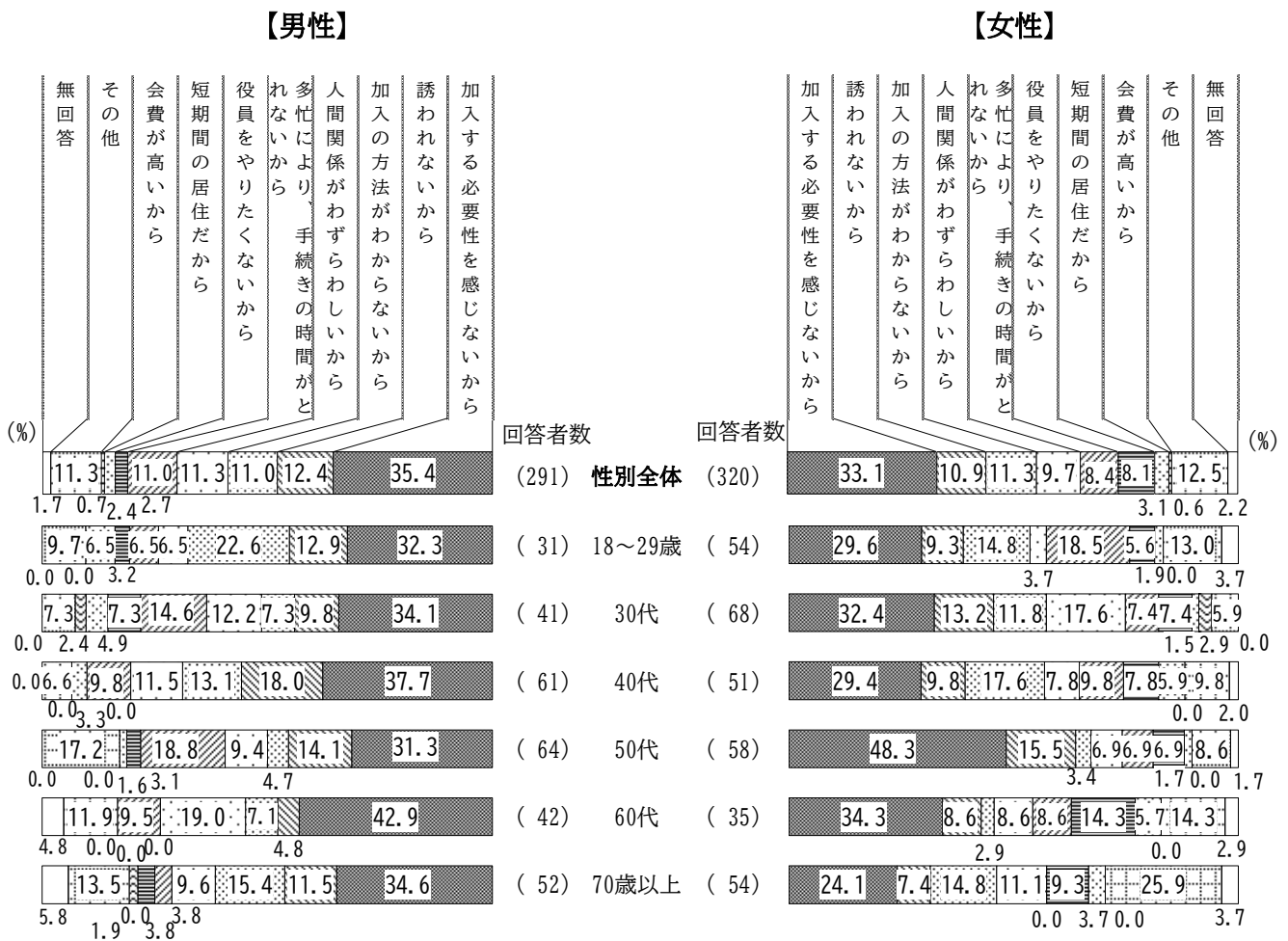


イ クロス集計・性別、性・年代別／町会・自治会に加入しない理由

(ア) 町会・自治会に加入していない理由を性別にみると、「役員をやりたくないから」は女性(8.1%)の方が男性(2.7%)より5.4ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、「加入する必要性を感じないから」は女性の50代で48.3%と最も高く、女性の70歳以上(24.1%)で最も低くなっている。また、「誘われないから」は男性の40代(18.0%)、「加入の方法がわからないから」は男性の18～29歳(22.6%)、「人間関係がわずらわしいから」は男性の60代(19.0%)でそれぞれ最も高くなっている。

図8-4-2 性別、性・年代別／町会・自治会に加入しない理由



(5) この1年間に参加した活動と、引き続き、または今後参加したい活動

問31 あなたがこの1年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（〇はいずれも、あてはまるものすべて）。

■【参加した活動】と【引き続き、または今後参加したい活動】がともに減少

ア 単純集計・経年比較／この1年間に参加した活動

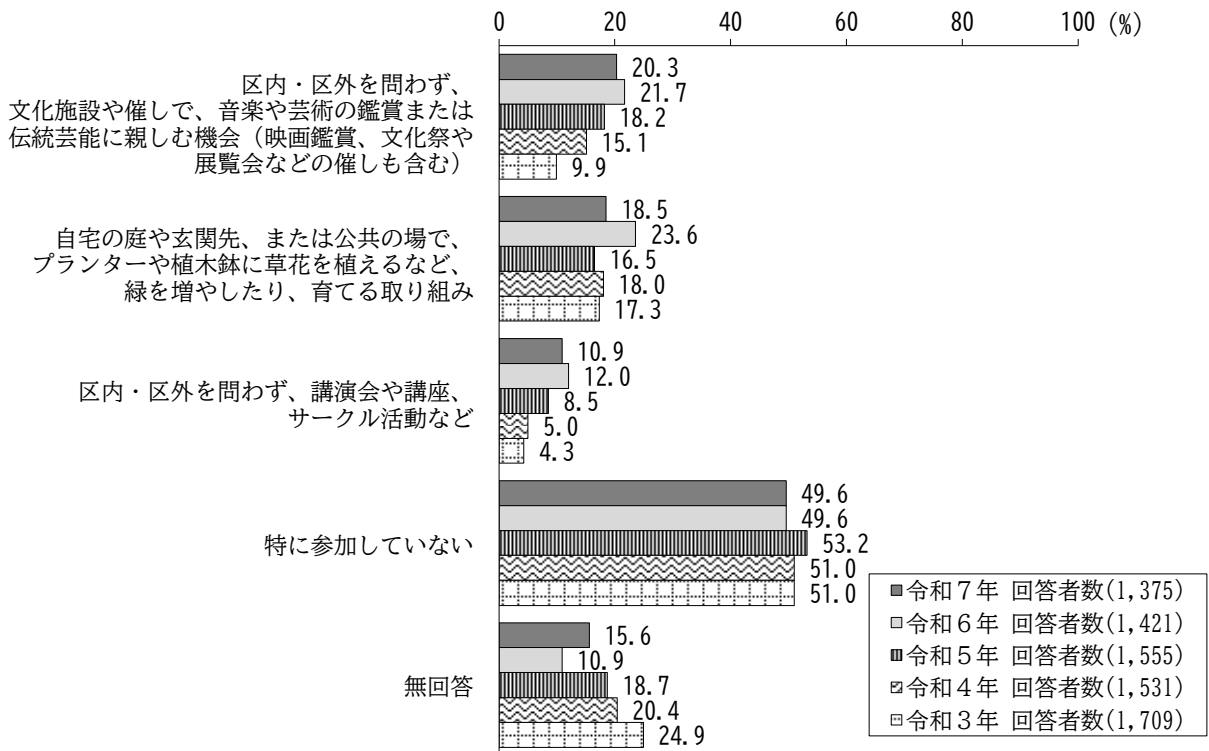
(ア) この1年間の参加状況は、「特に参加していない」が49.6%で最も高くなっている。

(イ) 【参加した活動】を高い順にみると、以下のとおりとなっている。

- ①「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」(20.3%)
- ②「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」(18.5%)
- ③「区内・区外を問わず、講演会や講座、サークル活動など」(10.9%)

(ウ) 前回調査との比較では、すべての活動で減少しており、特に「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」が5.1ポイント減少している。

図8-5-1 経年比較／この1年間に参加した活動



※「区内・区外を問わず、講演会や講座、サークル活動など」は、令和5年度から選択肢の冒頭に「区内・区外を問わず、」を加えた。

イ 単純集計・経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動

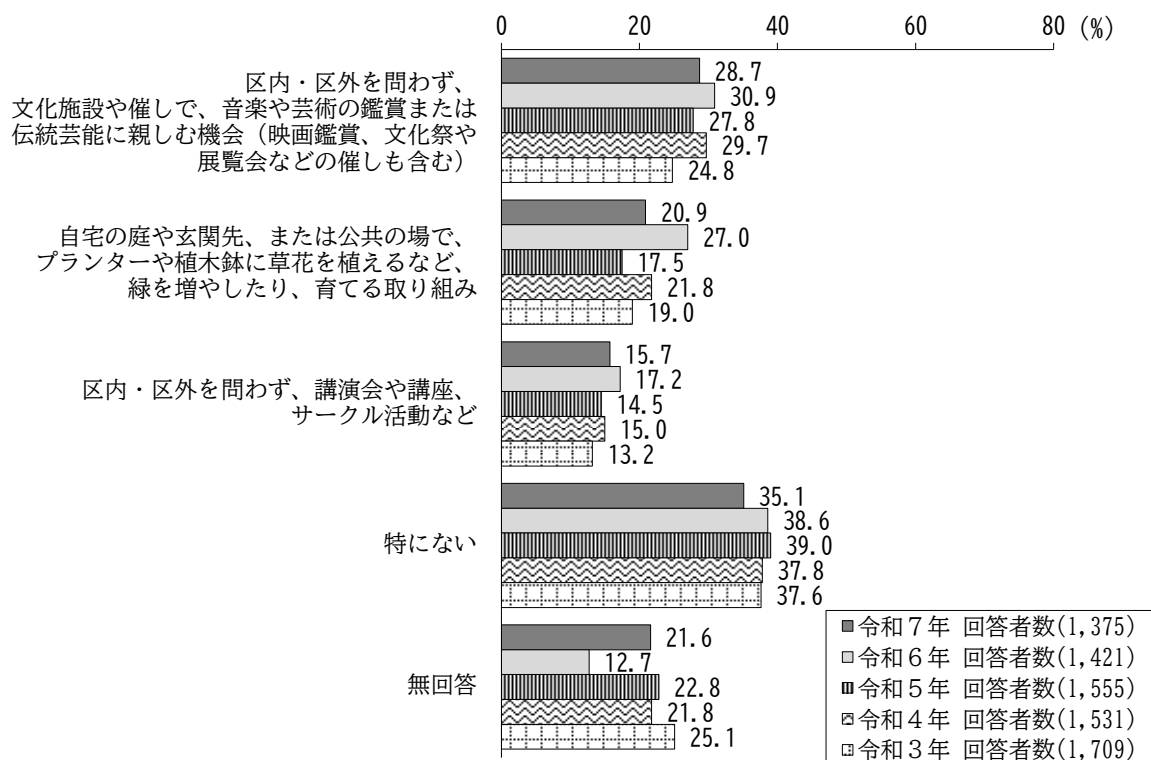
(ア) 今後の活動意向としては、「特にない」が35.1%で最も高くなっている。

(イ) 【引き続き、または今後参加したいと思う活動】を高い順にみると、以下のとおりとなっている。

- ①「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」(28.7%)
- ②「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」(20.9%)
- ③「区内・区外を問わず、講演会や講座、サークル活動など」(15.7%)

(ウ) 前回調査との比較では、すべての活動で減少しており、特に「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」で6.1ポイント減少している。

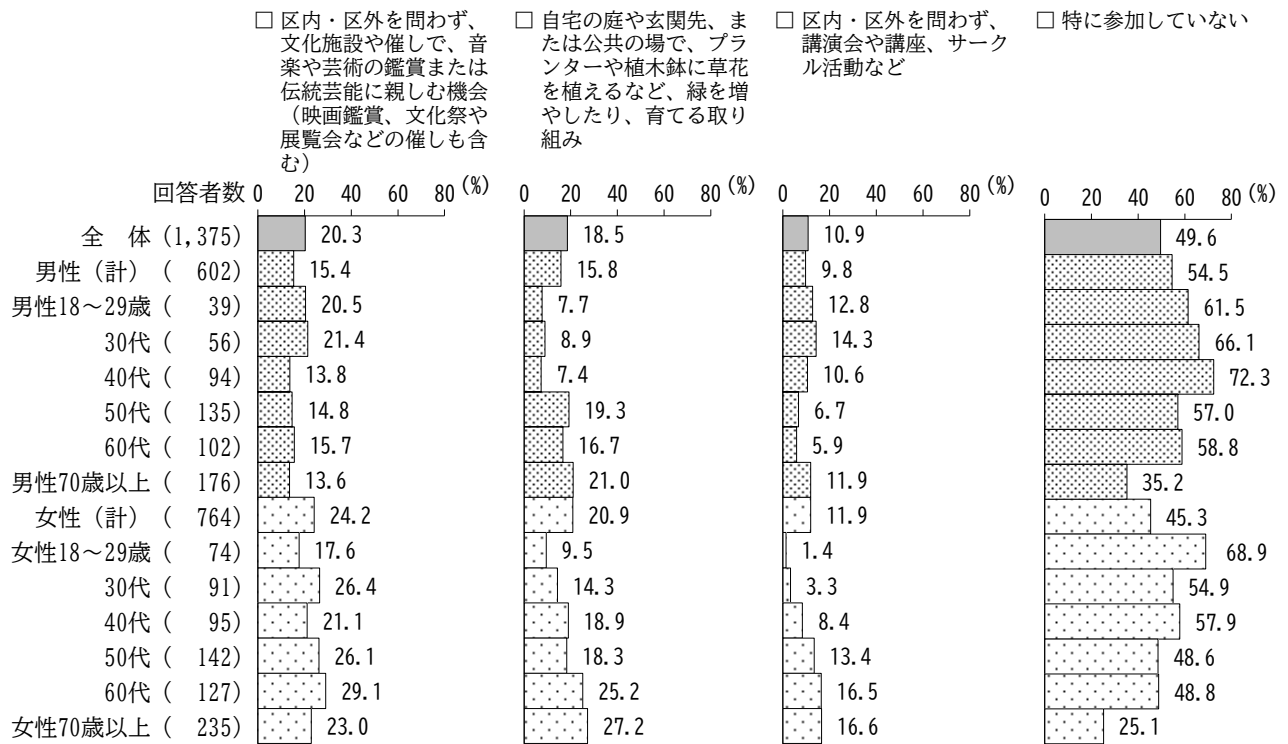
図8-5-2 経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動



ウ クロス集計・性別、性・年代別／この1年間に参加した活動

- (ア) 性別で参加状況を見ると、「特に参加していない」は男性（54.5%）の方が女性（45.3%）より9.2ポイント高くなっている。
- (イ) 【参加した活動】について性別で見ると、全て女性の方が高くなっており、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性（24.2%）の方が男性（15.4%）より8.8ポイント高くなっている。
- (ウ) 性・年代別で見ると、「特に参加していない」は男性の40代で7割台と高く、次いで、女性の18～29歳で7割弱となっている。「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性の60代で約3割と他の性年代層に比べて高く、逆に男性70歳以上で13.6%と最も低くなっている。

図8-5-3 性別、性・年代別／この1年間に参加した活動



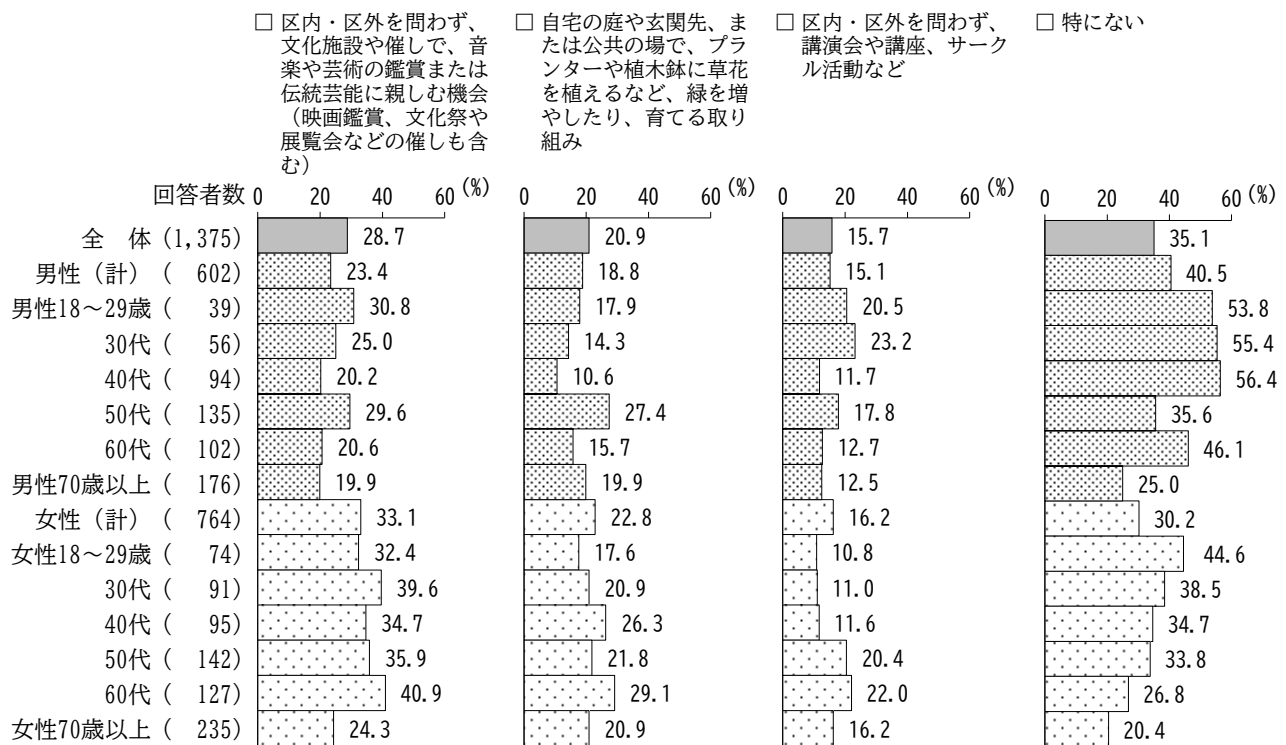
エ クロス集計・性別、性・年代別／引き続き、または今後参加したいと思う活動

(ア) 性別で見ると、「特にない」は男性(40.5%)の方が女性(30.2%)より10.3ポイント高くなっている。

(イ) 【引き続き、または今後参加したいと思う活動】について性別で見ると、全て女性の方が高くなっており、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会(映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は女性(33.1%)の方が男性(23.4%)より9.7ポイント高くなっている。

(ウ) 性・年代別で見ると、「特にない」は男性の40代以下の年代で5割台半ばと高くなっている。「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会(映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」は女性の60代が4割と最も高く、逆に男性の70歳以上が約2割と最も低くなっている。

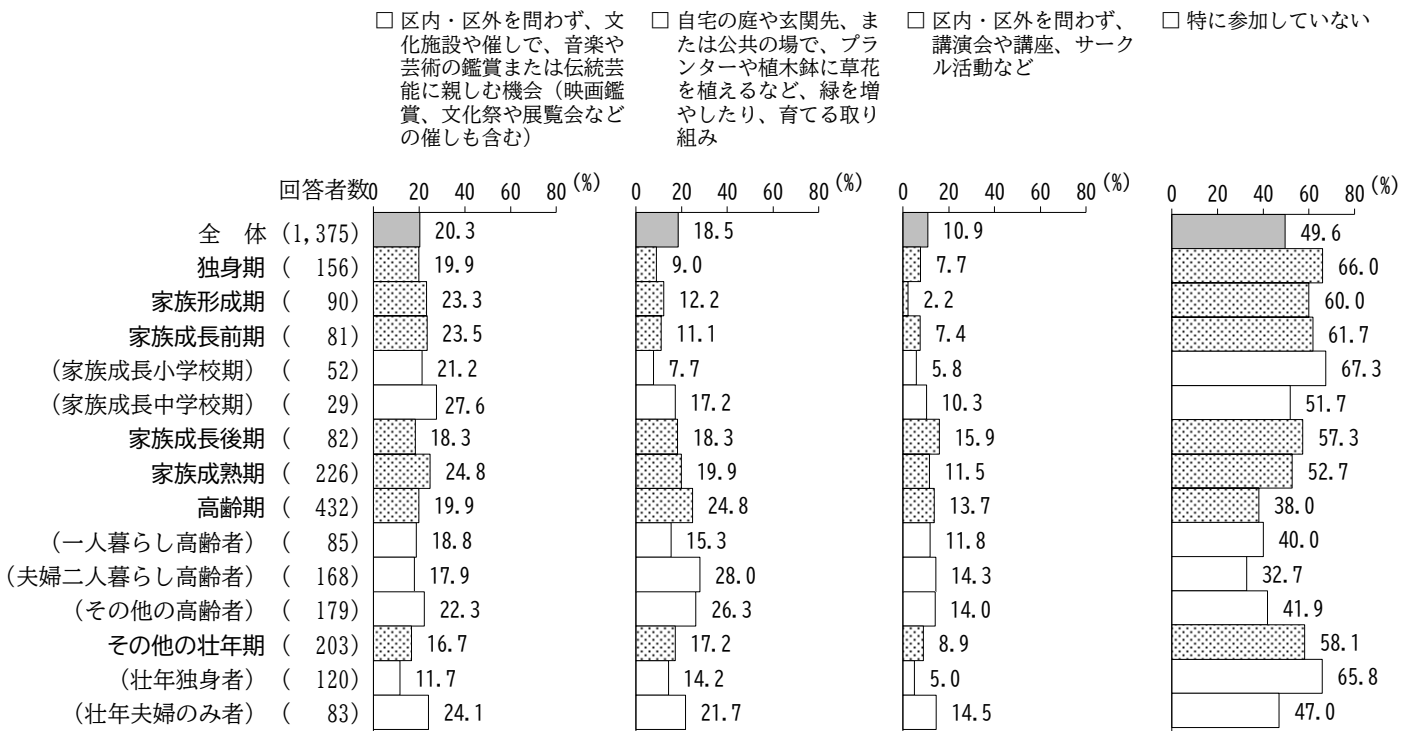
図8-5-4 性別、性・年代別／引き続き、または今後参加したいと思う活動



オ クロス集計・ライフステージ別／この1年間に参加した活動

- (ア) ライフステージ別にみると、「特に参加していない」は〈独身期〉が66.0%で最も高く、〈高齢期〉が38.0%で最も低くなっている。
- (イ) 【参加した活動】では、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族成熟期〉が24.8%で最も高く、〈その他の壮年期〉が16.7%で最も低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈高齢期〉が24.8%で最も高く、〈独身期〉が9.0%で最も低くなっている。

図8-5-5 ライフステージ別／この1年間に参加した活動

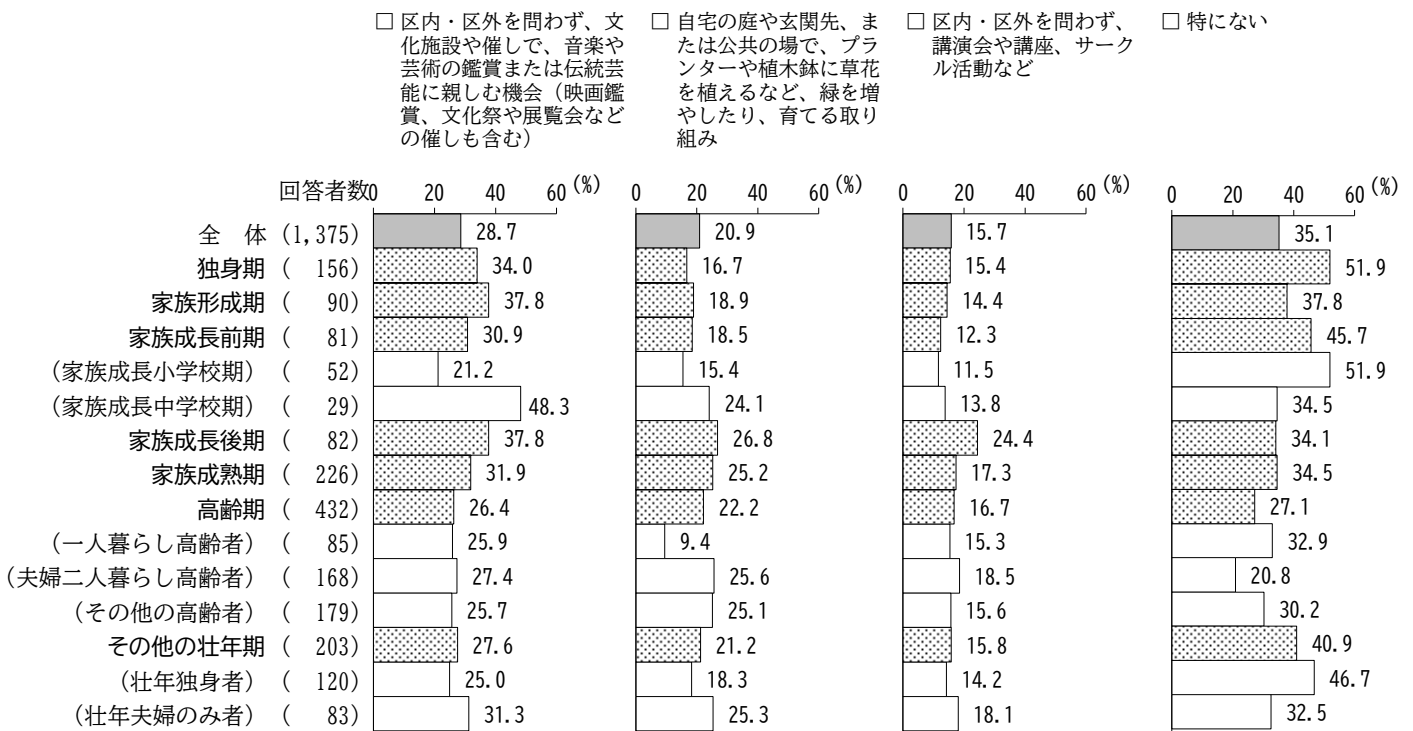


カ クロス集計・ライフステージ別／引き続き、または今後参加したいと思う活動

(ア) ライフステージ別にみると、「特にない」は〈独身期〉が51.9%で最も高く、〈高齢期〉が27.1%で最も低くなっている。

(イ) 【引き続き、または今後参加したいと思う活動】では、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族形成期〉と〈家族成長後期〉がそれぞれ37.8%で最も高く、〈高齢期〉が26.4%で最も低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈家族成長後期〉が26.8%で最も高く、〈独身期〉が16.7%で最も低くなっている。

図8-5-6 ライフステージ別／引き続き、または今後参加したいと思う活動



(6) 居住地のごみと資源の収集日の認知状況

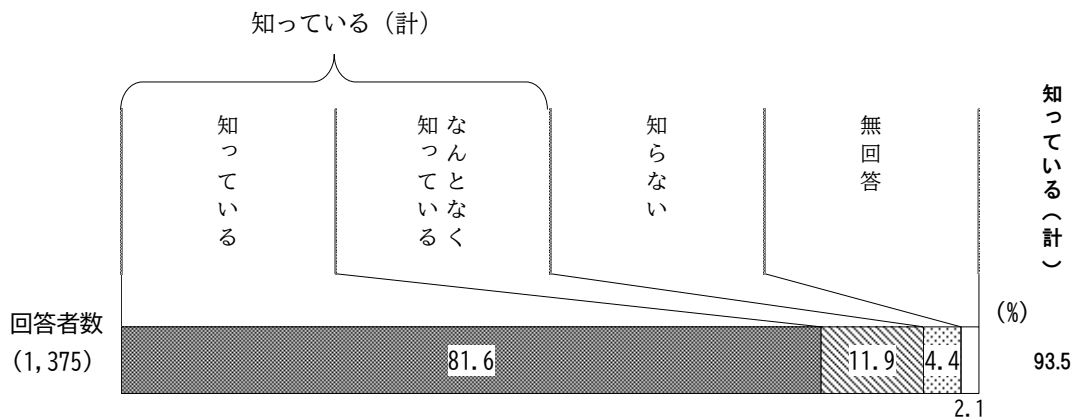
問32 あなたは、お住いの地域のごみと資源の収集日を知っていますか（○は1つだけ）。

■「知っている」は8割超で、【知っている】では9割台半ばを占める

ア 単純集計／居住地のごみと資源の収集日の認知状況

居住地のごみと資源の収集日の認知状況は、「知っている」（81.6％）が8割超で、「なんとなく知っている」（11.9％）を合わせた【知っている】では9割台半ばを占めている。なお、「知らない」は4.4％となっている。

図8-6-1 単純集計／居住地のごみと資源の収集日の認知状況



イ クロス集計・地域別／居住地域のごみと資源の収集日の認知状況

地域別で見ると、【知っている】は第9地域が98.1%で最も高く、次いで、第10地域(96.8%)となっている。一方、「知らない」は第4地域(8.8%)が最も高くなっている。

図8-6-2 地区別／居住地域のごみと資源の収集日の認知状況

